

新潟産業人クラブ（先端技術研究会）

新年会と新春講演会のご案内

初霜の候 皆様には明るくご活躍の事とお喜び申し上げます
さて、新春の初顔合わせを兼ねまして吉例の新年会を次のおり行ないます
貴方様にお会いできますこと心待ちにしております ぜひご出席くださいませ

日時 2020年1月16日（木）

会場 新潟グランドホテル 新潟市中央区下大川前通3ノ町2230
TEL025(228)6111

一、**新春講演会** 午後4時30分～5時50分（5階 波光の間）

あずま のぶ ひこ
長岡技術科学大学 学長 東 信彦 氏

【中小企業こそ『SDGs』乗れ】



大阪府出身。1986年 北海道大学大学院工学研究科応用物理学専攻博士課程修了。専門は雪氷学。94～96年 第36次日本南極地域観測隊ドームふじ越冬隊長。2009年 北グリーンランド氷床掘削国際共同計画に参加。2013年 長岡技科大の理事・副学長、2015年から学長。

二、**新年会** 午後6時～8時頃（4階 メイプルの間）

参加費：七千円（当日受付にて承ります） 芸妓さん来ます

以上

新潟産業人クラブ事務局宛

MAIL sentan@sentan.gr.jp FAX 025-233-6127

参加申込み書

新春講演会	出席	欠席
新年会	出席	欠席
所属		
役職・御氏名	①	
役職・御氏名	②	

グローバル化の切り札

長岡技術科学大学学長 東 信彦



あすま・のびこ 86年(昭61)北大大学院工学研究科博士課程修了。90年長岡技術科学大助教授、01年教授、13年理事・副学長、15年学長。大阪府出身、64歳。

日本企業を元気に

工業系の人材を育成し、企業に輩出する大学のトクとして、私は日本企業に元気を出してほしいと願っています。中でも、中小企業がパワフルになることこそ、経済成長の大地となる。

これからは、日本市場は縮小するだけでなく、海外企業との進出で競争が激しくなるだろう。中小企業もグローバル化に対応し市場を海外にも求める必要がある。だが、企業の中には「グローバル対応といえど何をすればいいかわからない、余裕もない」との声もある。

そこで「切り札」として提唱したいのが環境が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」の推進だ。2030年までに「貧困をなくそう」「つくる責任つかう責任」など17個の大きな目標の達成に向けて活動するもので、世界では目標達成に向けたビジネスが生まれるなどの動きも見られる。

18年の中小企業対象の認知調査では84.2%が「SDGsを全く知らない」との結果だった。SDGsを知らず、それに反じた活動をするなど、企業の間で低水準なほどの悪影響が出かねない。



中小こそ「SDGs」乗れ

い。SDGsに始ったビジネスで売り上げと利益を伸ばし、雇を増やすことで「持続可能な会社」と訴求できる。それでスナクホルダーからの信頼を得ることができ、企業の価値向上と持続的成長につながる。

人と情報に投資を

では、中小企業はどちらのSDGsをアピールすればいいか。まずは積極的な情報や人に投資をすべきだと考える。長岡技術科学大学は17個のうち「ゴール9」「産業界と技術革新の基盤をつくる」のハナ大学として国連に認定され、SDGsに貢献できる人材の育成に取り組んでおり、研究も進めている。大学にはインフラが多くあるので、ぜひ利

用してほしい。1社では不安なら教社でコンシューマーを組んでもいい。我々も理工系の単科大学として他大学と連携している。数社で手を取らねい、ビジネスの発想を養える努力が企業活性化には欠かせない。

私は、大手よりもむしろ中小企業の方が変化の速いグローバル時代に生き残れると思う。一つの物事を決めて進めるのに、大手企業では多くの人の意見が必要だ。中小企業ならば小回りがきき、社長がトップの決裁も早い。これは強みだと思う。大学は社会を先導する使命がある。我々もSDGsにだけた人材を企業に送り出し、中小企業が元気を取り戻すべく、取り組みを進める。